



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会

連絡先
志津南市民センター (563-6206)

役員名簿

役職	氏名
会長	中原 勝一
副会長	増田 正
副会長	松本 孝子
理事	扇 寛
理事	北尾 正夫
理事	斉藤 繁夫
理事	山本 啓夫
理事	小松原 幸助
理事	藤田 純嗣郎
理事	坂田 早苗
理事	岩崎 哲嗣裕
理事	小野 栄永男
理事	清水 弥和
理事	山本 久男
理事	(町並み保存委員長)
監事	齊藤 智久
監事	妹尾 志郎

2月18日に開かれたまち協議会



まちづくり協議会は、9町内会だけでなく、志津南地区で活動している各団体を加え、これらの活動を有機的、効率的、効果的

2月12日の各委員会委員長選定会議、同月18日の各グループ

プ代表選定会議、同日の第7回まちづくり協議会設立準備会における会長・監事選定会議等の結果、まちづくり協議会会長に中原勝一さんを選出したほか、平成24年度役員が左表の通り内定しました。正式には3月25日に開かれるまちづくり協議会設立総会において承認を得て、決定します。

まち協の組織・体制固まる
役員内定、会長に中原さん

に進めるために、各団体を活動分野別に5つのグループに分け、その連携を図る仕組みとなつていきます。そのために、グループの代表を決めてその代表が理事となり、またグループ会議を開いてグループ構成団体のそれぞれの活動を調整することになります(まち協の組織図は下図の通り)。

財政の観点からは、今まで各団体に個別に交付されていた補助金が、平成24年度から平成25年度にかけて、一括交付金としてまちづくり協議会に交付されることとなります。一括交付金の使途に関しかなり自由な裁量が担保されることになるわけで、重点的な活動計画を立てたり、重複する活動を統廃合することが可能になります。

もちろん、この4月1日から急に変化するわけでは決してありません。今後みんなで協議しながら、あるべき姿を模索していくこととなります。このことから、名称を「協議会」としました。このことを十分ご理解いただき、住民の皆さんのご協力とご参画をお願いいたします。

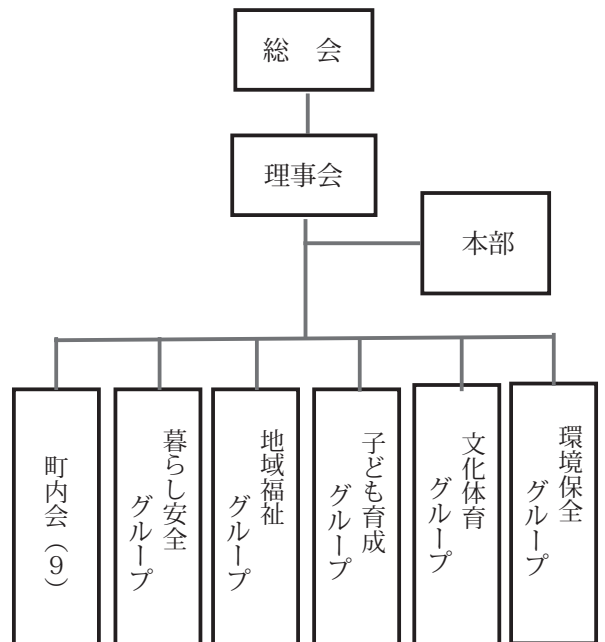
志津南



志津南地区、市民生活向上のためにまち協を設立しています。市民生活の向上、まちづくりの推進、市民生活の向上に貢献することを目的として、まち協を設立しました。

まち協発足を機にHP一新

自治連広報委員会は、平成24年4月にまちづくり協議会が発足するのを機に志津南地区のホームページ「若草ネット」を一新使用と現在、その作業を進めていくことにしています。



「おにぎり村」が人形劇



人形劇を楽しむ参加者

志津南地区民生委員・児童委員協議会と子育てサークル（若草おやっこクラブ・ひよっこクラブ）共催の人形劇サークル「おにぎり村」（湖南省市）の公演が3月1日、志津南市民センターで開催されました

本格的な手づくりの舞台、人形たちの軽快な動きに、お母さんのひざの上でリズムにのって体をゆらす笑顔いっぱいの幼児たち56人、保護者48人、地域の人たちあわせて約130人がともに楽しいひと時を過ごしました。

「とんでったバナナ」ではソプラノの美しい歌声が流れる中、ぬいぐるみのバナナの動きに見入ったり、「ゴリラのケーキ屋さん」では突然登場した本物そっくりの大きなゴリラに子どもたちはびっくり顔。

最後は照明を落とした会場に「おもちゃのチャチャチャ」の曲に合わせて次から次へとおもちゃ箱から飛び出し、踊る色も鮮やかな数々のエースたちに大喜び。ぬくもりのこもった人形劇と地域のみなさんの温かなまなざしに見守られ約1時間のふれあい広場は和やかな雰囲気になりました。

「わんぱくプラザ南っ子」の今年度最後の恒例事業「もちつき大会」が2月18日、志津南市民センター（公民館）でにぎやかに行われました。

慣れない手つきで順番に杵をつく



わんぱくもちつき大会

つき終わったあつあつのおもち

今回は、明け方から突如の大雪に見舞われたり、インフルエンザによる学級閉鎖の影響で参加者が例年に比べ減少しましたが、元気いっぱいの子どもたち36人と地域の協力者、保護者ら50余人が参加しました。

雪のため、もちつき会場を玄関に設置し、地域の協力者やお父さん、お母さんに教えてもらいながら順番に小さな杵で蒸したもち米をついておもちにしました。

熱心に講習に取り組む体振役員ら



ニユースポーツ講習会開く

は、醤油と海苔で磯もち、きな粉をまぶして安倍川もち、あんこを包んだあんこもちでいた

だきました。外は寒かったものの、おもちと暖かい豚汁で体を温めました。

まだ冬の雪が舞い散る2月25日、ニユースポーツの講習会が志津南小学校で行われました。体育館内とはいえ床下から伝わる底冷えにもかかわらず、体育振興会役員約30人が参加しました。

今回の講習内容は、フリーピンポンとスローイングピンポンの2種目です。フリーピンポンは、4人全員が仲間をいかにラリーを長く続けられるか、チームの和を競うスポーツです。

志津南市民センターは2月25日、今年度最後の高齢者等つどい推進事業として、若寿会月例会と併せて「福祉講座」を開催、若寿会会員、地域のみなさんら45人が参加しました。写真。



有意義だった福祉講座

2チームに分かれ球を投げる精度とピンゴに並べる戦略が必要で、技と運の絶妙なコンビネーションで相手チームと得点を競います。どちらも、直接身体との接触はなく、ゆっくりとした動きでよく、小学生から高齢者の方まで楽しめる、現在のニーズに合ったこれぞニユースポーツといえるものです。

今年6月にニユースポーツ大会が開催が予定されています。このように高齢者から小学校低学年まで、幅広く全員が楽しめる行事に仕上げたいと思います。

今回で参加された方々、準備協力いただいた役員のみなさんありがとうございました。

草津市西蓮寺住職の上寺和親さんを講師に迎え、「輝いて生きよう」をテーマに、ワークショップあり、童謡ありの楽しい講座となりました。

上寺住職の「人はみんな支え合い助け合って生きている。一人で生きているのではなく大きな存在によって生かされている。人と人の絆を深め、輝いて生きていこう」の言葉に、改めてそう感じた有意義な時間でした。

いくつになっても誰もが主役の、生き生きと輝いている町に思いを馳せながら閉会しました。

楽しくふれあいコンサート

プロの音楽家招き美声堪能

志津南地区青少年育成区民会議（小山美恵子会長）は2月24日、志津南小学校体育館でプロの音楽家を招いて「ふれあいコンサート」を開催しました。

出演は滋賀県で結成され、活躍中のプロの音楽家グループ「セシリアシンガーズ」の7人。志津南小学校児童のほか、保護者や地域の住民ら20人も一緒に鑑賞しました。

美しい歌声を響かせるセシリアンガールズ



コンサートはミュージカル「赤ずきんちゃん」とミニコンサートの二部構成。ミュージカルでは、森の木やお花畑、おばあさんの家が設けられ、体育館が小さな舞台となりました。子どもたちは、美しい森の精のナレーシヨンや、赤ずきんちゃんに心を弾ませ、赤ずきんちゃんとオオカミのスリル満点のやりと



- 3月17日（土）
 - ☆健康ウォーキング
 - 8：45 若草中央公園集合
 - ★町内総会
 - 若草1～5丁目
 - 9：00～
- 3月18日（日）
 - ★町内総会
 - 若草6～8丁目、岡本西
 - 9：00～
- 3月19日（月）
 - ☆志津南小学校卒業式
 - 9：15～11：00
- 3月20日（火・祝）
 - ☆若草くるみ保育園卒園式
 - 10：00～11：00
- 3月24日（土）
 - ☆社会奉仕
 - 8：30 若草中央公園集合
- 3月25日（日）
 - ★自治連合会総会
 - まちづくり協議会設立総会
 - 10：00～12：00
- 3月27日（火）
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
 - 10：00～11：00
- 4月1日（日）
 - ★まちづくり協議会定時総会
 - 10：00～12：00
- 4月6日（金）
 - ★ふれあい昼食会
 - 12：00～13：00
 - ボランティア「泉」
- 4月7日（土）
 - ☆健康ウォーキング
 - 8：15 若草中央公園集合
 - ★若寿会総会
 - 11：00～15：00
- 4月10日（火）
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
 - 10：00～11：00
- 毎週金曜日
 - ふれあい喫茶
 - 10：00～12：00
 - 第五集会所（五丁目）
- 金曜日を除く毎日
 - ふれあいハウス「絆」
 - 10：00～16：00
 - 第六集会所（六丁目）

★印の会場は志津南市民センター（公民館）です

りにははららどきどきして、全校児童が引き込まれていました。

ミニコンサートでは、春の歌のほか、ドイツ語の歌、スキヤ

社協もふれあいコンサート



演奏もおしゃべりもなごやかに

志津南社協の23年度最後の行事「ふれあいコンサート」が2月26日、志津南市民センターで開かれ、地域のみなさん55人が参加しました。

コンサートは、おなじみの「カルテットE」による「アメイジング・グレイス」の演奏で始まり、「グリーンズリブス」「オー・シャンゼリゼ」「精霊の踊り」「シュベールのセレ

ット、アカペラでの歌、おもしろい言葉の並んだ「はははのほ」など、多様な表現法に子どもたちは時間を忘れて楽しみました。

最後はアンコールに添えていただき、みんなで「ピリッ」を歌うなど、思い出しほいのふれあいコンサートとなりました。

休憩のお茶タイムでは各席に演奏者を囲んで談笑、後半はピュラーな「少年時代」「ダンボーイ」など、5曲を楽しんだのち、「また君に恋してる」「お祭りマンボ」「ひなまつり」「早春賦」など5曲を参加者全員の大合唱でしめくり、楽しいひと時を過ごしました。

親子遊び出前講座

子育て支援センターの「親子でふれあい遊び」が2月9日、志津南市民センター（公民館）で行われ、同センター保育士、箕浦孝栄先生と森和子先生が未就園児向けの出前講座を開催しました。

子どもたちはお母さんの膝に座って「おすわりやす」「いっぽんほしこちよこちよ」などのふれあい遊びをしたり、電車に象さんや熊さんが乗って来るお話の大きな絵本を読んでもらったり、布のハンドルを握って輪になって電車ごっこをしました。じゃんけんして電車のハンドルを取り合い、お友達とコミュニケーションの練習もしました。

その後、牛乳パックと輪ゴムを使って、飛び出す雪だるまのおもちゃを作り、また、「ちよつとだけ」というお話をビデオプロジェクトで上映し、弟や妹が生まれた時の、子どもやお母さんのお互いへの接し方を勉強しました。子どもたちは二人の話の静かにお行儀よく聞いていました。

歌を歌って講座が終了したあと、保育士の先生方がお母さんたちの子育ての悩みにアドバイスをしました。

完成した地域活動室



センター改修工事が完了

昨年11月から工事を進めていた志津南市民センターのリフレッシュ工事は、1月に調理室部分に続き、中庭部分の増築棟が3月1日に完成、すべての工事を終えました。

完成した増築棟は木造で広さは約22平方メートル(約13畳)。冷暖房完備でフロアリングや腰板も木製のため、全体として暖かい感じがします。増築棟は、既設の建物とは独立していますが、サロンや会議室と同じ床高でつなぐデッキが設けられ一体感を持たせています。

この部屋は地域活動室として、当面はまちづくり協議会など地域団体のコミュニティ活用

まちかど アングル

早春賦

「春は名のみの風の寒さよ」(唱歌「早春賦」)。この冬はこのほか寒さが厳しく春が待ち遠しい。先月の雪の朝、南天の枝に積もった雪。左の方、なにやら赤い目のシロクマがエサを探しているように見えなくも無い。風はまだ冷たいものの、日差しは日々温かみを増し、季節は確実に歩みを進めている。いましばらくの辛抱、春はすぐそこにある。



動をするための事務室や公民館主催事業に活用することになっています。

全集会所会議室がいす式に

座布団に座っての会議が辛かった方々に朗報です。このほど



若草一丁目の第一集会所と若草七丁目の第七集会所「写真」にそれぞれ会議用テーブル六台とパイプいす20脚を設置しました。

来月から「言葉こぼれ話」「まちかどアングル」は今月でひとまず終了し、来月から新しく「言葉こぼれ話」を連載します。日本語、外国語を問わず、連絡と受け継がれ今に息づいている言

これで5集会所全てがいす式になりました。足の痛みを気にせず会議に集中でき、使用後の後片付けも必要ありません。大いに活用下さい。

なお、利用にあたっては、それぞれの町内会の副会長さんまで事前に申し込んで下さい。

折々の記

ある休みの日、テレビに、携帯電話、スマートフォン、アイパッド、パソコンに向かう高齢者の姿が映し出されています。アイパッドを公民館に持っていった、それで囲碁を楽しんでいらっしやるのです。

携帯電話、スマートフォンで、電話やメールだけではなく、ツイッター(つぶやきサイト)につぶやいている! 勿論パソコンでもツイッター! そのつぶやきに応えるフォロワーの年齢は幅広く、主に若者からのフォロー

好奇心

速買ってきて、意気揚々と説明書片手に格闘していました。その後も、新型が出ると買い替えるという好奇心旺盛な父でした。パソコンに到らなかつたのが少し残念には思っています。

今、自分が一番若い、明日になれば一日歳をとるのだから、思い立ったときに始めよう…。市民センターの日々は、このことを学ばせていただいた有意義な日々でした。

(市民センター T・Y)